WOWOW

各位

2025年6月9日
株式会社 WOWOW
代表取締役 社長執行役員 山本 均
（コード番号：4839 プライム市場）

プレスリリース

TBS・WOWOW共同開発 映像伝送ソフトウェア「Live Multi Studio」が第51回放送文化基金賞 放送技術部門を受賞

株式会社WOWOW(本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員 山本 均、以下「WOWOW」)と、株式会社TBSテレビ(本社：東京都港区、代表取締役社長 龍宝 正峰、以下「TBS」)が2024年3月に無償提供を始め、2024年11月から有料プランを開始している、独自プロトコルによる映像伝送ソフトウェア「Live Multi Studio」(以下「LMS」)が、公益財団法人放送文化基金（HBF）が主催する、第51回放送文化基金賞 放送技術部門を受賞しました。

放送文化基金賞は、視聴者に感銘を与えた優れた番組・配信コンテンツや、放送文化、放送技術の分野で顕著な業績をあげた個人・グループを表彰する賞で、有識者や専門家を含む審査委員会により、時代に向き合う多様な視点で審査が行なわれます。今回受賞となった放送技術部門は、放送に関連する技術の研究・開発や、放送現場での工夫・考案で効果を上げた技術による功績を表彰する部門になります。

＜受賞理由＞
「インターネット回線を介して離れた場所にあるカメラ等を操作しようとすると制御信号に遅延が生じるため極めて困難であった。今回この課題を解決する独自の伝送方式を開発、ゴルフ、テニス等の海外生中継番組で

現地カメラ、スイッチャー等の国内からのリモート操作を可能とし、効率的な中継を実現した。『世界陸上オレゴン』、テニスの国際大会『男子テニス国別対抗戦デビスカップ』等で使用し、好評を得ていることは、高く評価できる。」

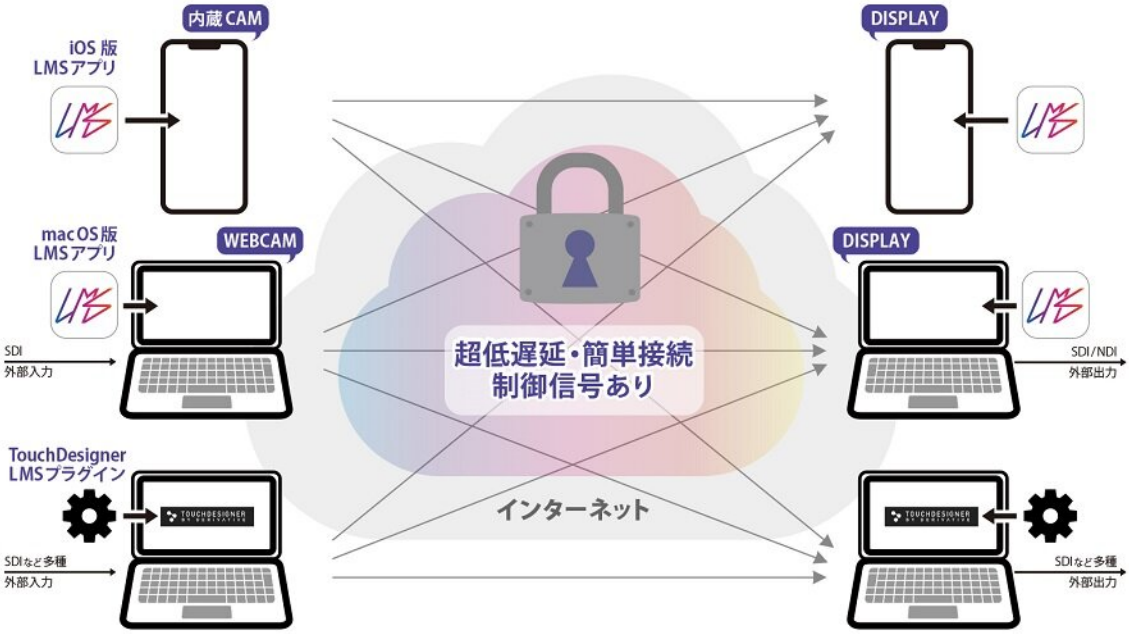
LMSは、一般的なインターネット回線を用いた、 これまでにない放送クオリティーの映像伝送ソフトウェアです。
超低遅延での伝送、ポートの開放が不要となり簡単に接続、制御信号の送信も可能という特徴に加え、特許技術"Multi Latency"（TBSで特許を取得。特許第7431207号）を使った独自機能も備えています。 各社では、遠隔地からの機材操作を伴う映像制作（リモートプロダクション）や、スマートフォンを使った放送クオリティーの簡易中継など、プロフェッショナルの現場においてもその利便性と安定した品質でユースケースが拡大しています。
またその特性から、映像制作業界はもちろんのこと、VTuber事業、イベントやメディアアート、機器遠隔制御等、別業界からも注目を集めています。

今後も、さまざまなアップデートを予定しておりますので、ご期待ください。

＜LMSとは＞
TBSとWOWOWが共同で開発した独自プロトコルによる映像伝送ソフトウェアです。放送現場の要求水準を満たす品質の高さにより、リモートプロダクションをはじめとする映像制作分野で多くの利用実績を重ねています。主な特徴として、
・公衆インターネット網で、ポートの開放等を意識せず、簡単に接続
・遠隔からでも違和感なく、機器操作が行なえる低遅延環境を提供
・ネットワークの乱れによる映像信号の欠落や揺らぎを修復
・映像や音声以外にも、制御信号を送受信することが可能　等
現行プロトコルでは実現が難しかった機能を、すべて提供できるソフトウェアになります。

＜公式サイト＞
https://livemulti.jp/studio/

＜公式紹介動画＞
https://youtu.be/_1o4fQOmHwA



＜受賞情報＞

2024年日本民間放送連盟賞 技術部門 最優秀

第1回テクニカルディレクションアワード デジタルサービス部門 銀賞（SILVER）

映像情報メディア学会 第52回・2024年度 技術振興賞 進歩開発賞（現場運用部門）

＜リリースに関する問い合わせ先＞

株式会社WOWOW 経営管理局 広報・IR部　(電話：03-4330-8080 ／ メールアドレス：corp.support@wowow.co.jp)

株式会社 TBSテレビ メディアテクノロジー局 未来技術設計部（代表：03-3746-1111）

以上

報道関連・IR関連のお問い合わせ

経営管理局 広報・IR部 TEL:03-4330-8080

E-mail:corp.support@wowow.co.jp

コーポレートサイト:https://corporate.wowow.co.jp

SNS(X):https://x.com/WOWOW_Inc